



町田市立町田第三中学校

三中 News

第20号

令和7年 3月25日 発行

町田市本町田1853番地
電話 042(722)6095
FAX 042(721)4386
ホームページもご覧ください。

<http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/>

「町田第三中学校」で検索

第57回卒業式式辞

校長・大石 眞二

早春のこの良き日、雪の冷たさに耐えながらも木々の梢に膨らみ始めたたくさんの芽が、今にも弾けそうです。今日、第57期生の皆さんは、9年間の義務教育を終え、町田第三中学校を卒業していきます。皆さんはあまたの喜びや悲しみを乗り越えて、この3年間で大きく成長しました。皆さんは小学校高学年のときにコロナ禍を体験しました。その影響もあったのか、それまでの三中生と異なり、ずいぶん落ち着いた生徒が多かったような気がします。また、とても仲の良い学年だったと思います。毎日のように昼休みの校庭で、全力でボール遊びを楽しむ姿を目にしました。しかし、やるときはやる57期生。全員がしっかりと自分の進路を切り開いたことも見事でした。皆さんなら今後もきっとそれぞれの希望に向かって努力し続け、素晴らしい未来をつかみとることができると思います。

さて、今日は二つの話をします。

一つ目は「VUCAの時代」についてです。VUCAとは変動性、不確実性、複雑性、曖昧性を表す英単語（volatility uncertainty complexity ambiguity）の頭文字をつないだ造語で、未来の予測が難しくなった時代を指すビジネス用語です。テクノロジーの進化で価値観や社会の仕組みは激変しています。ネット社会の進展がよい例です。AIの進化により、画像や動画を生成することが容易になっています。ユーチューブなどでもAIで作ったアニメや映画のパロディが出回っていますが、最近では本当にクオリティが高くなっているのを感じます。一見すると本物と間違えてしまいかねないフェイク画像や動画が出回り、誤った情報により世論が形成されてしまう事件も度々起こっています。このように変動性、不確実性、複雑性の3つが重なると、前例や過去の成功例が通用しない、曖昧性が高くなることとなる。これを「VUCAの時代」と呼ぶのです。これまで職業は選択するものと考えられてきました。これは今ある職業が30年、50年存続することが前提となります。ところが、「VUCAの時代」では、大きな企業や老舗企業が、ある日突然社会からの退場を命じられてしまうことも珍しくありません。高い競争率を勝ち抜いて一流企業に入っても、そこがずっと一流企業であり続ける保証はないのです。したがってこれからは、どこに就職するかではなく、自分が何がやりたいのか、という視点でキャリアを考えていく必要がある、それがVUCAの時代です。1989年（平成元年）には、世界時価総額ランキングトップ50に、23社の日本企業が入っていました。ところが2023年にはなんと1社も入っていません。トヨタ自動車の52位が日本企業では最高でした。これから皆さんは高校、大学や専門学校などに進学、または就職をしていくと思います。このとき、どこに就職したいかではなく、自分がどんなことをやりたいのか、という視点が必要な時代に生きている、それを忘れないでほしいと思います。

二つ目はある人の言葉を紹介したいと思います。今年1月末に67歳でお亡くなりになった経済アナリストの森永卓郎さんの言葉です。森永さんは、グリコのおまけや崎陽軒のシウマイの醤油さしなど、本人いわくB級品コレクターとしても知られ、10万点以上のコレクションを収めたB宝館なる博物館施設も運営されていました。

その森永さんに「夢を持つのはやめなさい。」という言葉があります。亡くなる前日まで仕事をやり続けた森永さんらしい言葉だと思いますが、「夢を持つのはやめなさい。」なんて、一瞬どきどきとする言葉です。しかし、あとに続く言葉を聞けば納得できると思います。「夢を持つのはやめなさい。『いつか、これをやろう』『やってみたいと思っていた』を禁句にする。思い立ったらすぐにやる。」こう続くのです。

B級品コレクションを集め続けた森永さんでしたが、せこさを楽しむ人を表す造語「セコロジスト」を自称するどけち生活を送っておられました。これは次のような目的があったからだと思います。自分のコレクションに足りないものが見つかったとする。しかし今はお金がないから、お金を貯めてから買おう。これもひとつの考え方ですが、お金を貯めている間にほしいものが売り切れてしまったり、手が届かない値段になってしまったりして、二度と手に入らなくなってしまうこともあります。あるいは極端な話、自分が死んでしまうこともあるでしょう。だから、ほしいものに出会ったらすぐ買うことができるようにたくさんお金を稼ぐ、そして節約をする。実に合理的な考えだと思います。

「夢を持つのはやめなさい。」とは、夢を夢のまま終わらせずに、思い立ったらすぐにやる、そのためにすぐ行動に移せるようにいつも準備しておく。そんな心構えの大切さを説いた言葉だと思います。もちろん、夢の実現方法は人それぞれで良いと思います。でも、「いつか」で終わらせることのないように、常に一步を踏み出せる、こういう行動力は見習うところがあるのではないのでしょうか。夢を夢のまま終わらせるのではなく、やりたいこと、やるべきこととしてそれを実現できるように努力していく。皆さんもぜひそんな積極性や行動力を身に付けていってください。

最後になりましたが、ご臨席を賜りました保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。本校教職員もこれまでの三年間、全力でお子様の教育に尽力してまいったつもりですが、行き届かぬ点もあったかと存じます。にも関わらず、常に本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました。また、ご家庭でも、ときには厳しくときには温かくお子様に寄り添って下さいました。高いところからではございますが、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。明日からお子様は、一人一人異なる人生を歩んでいくこととなります。

しかし、まだ思春期真っ盛りのお子様たちのこと、保護者の皆様の支えが必要な場面も多々あるかと存じます。本日、お子様たちは本校を卒業し、9年間にわたる義務教育も終わりになりますが、お子様のよき理解者として、またよき相談相手として、今後もお支えいただければ幸いです。

卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。「誇れる自分、誇れる仲間、誇れる三中」これが本校のキャッチフレーズでしたね。皆さんは本日で町田三中を卒業しますが、明日からはそれぞれの場所で「誇れる自分」となり、「誇れる仲間」と共に努力を続けていってくださることを心から期待しています。以上をもちまして、第57回卒業式の式辞とさせていただきます。

2025年3月19日

町田市立町田第三中学校長 大石 眞二

2024年度修了式式辞 「より良い人間を目指す努力を！」

こんにちは。いよいよ今日で2024年度が終わります。19日には卒業式が行われ、154名の卒業生が巣立っていきました。2年の皆さんは立派な先輩方の背中を見ることができましたね。また、準備や片付けも見事でした。次は皆さんの番です。

振り返ってみて、この一年間はどうかだったでしょうか。藤子・F・不二雄さんの言葉に、「のび太にも良いところが1つだけある。それは彼は反省するんです。いつまでもいつまでも、今よりも良い人間になろうと努力するんです。」というものがあります。この言葉は、「反省して」「今よりも良い人間になろうと努力する」ことを「良いところ」と言っているところに意味があると思います。つまり藤子先生は、「反省して今よりも良い人間になろうと努力する」のは誰にでもできることだとは考えていないのです。確かに我々は何か失敗したときに反省をします。この一年間を振り返ってみても反省が心に思い浮かぶことでしょうか。しかし、私にもそういうことがあるのですが、反省だけで終わってしまうことも多いのではないのでしょうか。成功し続ける人はまずいません。失敗は誰にでもあります。失敗したときに、反省だけで済ませてしまうのではなく、より良く生きようと前向きに努力できるかどうか。これが大切だと思います。今日、修了式という1年間の節目に当たって、ぜひ反省をより良い方向への努力という形に表していってくださることを期待しています。

さて、もう一つ振り返ってほしいことがあります。それは三中の「5つの大切」についてです。「時間」「もの」「自分」「相手」「礼儀」、この5つを大切に三中での生活を送ろう、というのが三中での教えてでしたね。まず「時間」と「もの」を大切にすることができたでしょうか。特に「時間」を大切にしないと自分の時間だけでなく、ほかの人の時間を奪うことにもつながります。この一年間に遅刻をしてしまった人は、基本的な生活習慣から見直していきましょう。次に3つから5つ目の「自分」、「相手」、「礼儀」についてです。「礼儀」というのは、自分と相手の人間関係の中で必要なものです。授業では、必ず礼をしますね。授業をしてくださる「相手」である先生、共に学ぶ「相手」であるクラスメイトはもちろん、クラスという集団を構成する「自分」にも礼をすることで、敬意を払うのです。自分にとって嫌なことは相手にもしない、これも礼儀の一つです。礼儀は、あいさつが代表的なものとして挙げられますが、あいさつには「ありがとう」や「ごめんなさい」も含まれます。また、会釈のような言葉を発しない礼儀もあります。「ありがとう」という言葉をかけてもらうとうれしいですね。また、ちょっとしたトラブルも「すみません」「ごめんなさい」の一言があれば、大きないさかいに発展せずに済ませることもできます。礼儀は社会で生きていくための知恵です。いくら心の中で思っても言葉や仕草で伝えないと相手に伝わりません。1年の終わりにあたって、「自分」を大切に、「相手」を大切に、「礼儀」を大切にできたかどうか。ぜひ振り返って足りない部分があれば改めていってください。

明日からは春休みに入ります。このあと担任の先生から渡される通知表をよく見て、得意な教科はさらに伸ばし、苦手な教科は克服できるように復習の期間としていきましょう。また、長期の休みの前にはいつも言っていることですが、もし悩みを抱えている人がいたら、学校の先生や信頼できる大人、公的機関の相談先などに相談してください。決して一人で抱え込まないでください。悩みは人に聞いてもらうだけでも、落ち着くことができます。また、遠出をする人もいるかもしれませんが、事故や事件に巻き込まれないよう、気を付けて生活を送ってください。

それでは4月7日の始業式に、皆さんが元気な笑顔で登校することを祈っています。「5つの大切」を合言葉に、三中をますます素晴らしい学校にしていきたいと思います。終わります。

【保護者・地域の皆様へ】本日の修了式で、今年度で本校を去る7名の教員と2名の特別教育支援員が別れのあいさつをさせていただきました。2025年度に転任又は採用される教職員ともども、今後どうぞよろしくお願い申し上げます。今年度も大変お世話になり、ありがとうございました。